

# 算数の授業改善～今、求められている基本！

算数の枝小スタイル



## ★授業前の単元づくり

◎単元でつける様々な力を確かめ、ゴールの姿から単元・授業をデザイン。

◎考えの交流で深め合う時間、習熟に時間をかける時間など、単元内の指導の軽重も計画。

「算数作文」を書く時間も設定すると効果的！

## I 問題と学習課題をつかみ、見通しをもつ (開始5分までに課題提示を)



今日の問題と学習課題をつかむ。(課題は青で囲む)  
既習事項を基にして解決の方法を考える。

※単元の最初には、「主体的に学習に取り組む態度」の目標を伝える。

問題・発問の工夫により、児童の意欲を高める。  
「正しい？正しくない？」や、「どちらが～？」など。

- ①本時の問題をつかむ。
- ②今日の課題を確かめる。(できそうな時は子ども達から課題を引き出す)
- ③どんな方法で考えたらよいか、既習事項を基に見通しを立てる。(解決の見通し)  
※効果的な時には、結果の見通しももたせる。

## II 個人思考の場

解決の見通しをもとに個人思考に取り組む。  
自分の解決の仕方を、まとめる。

全員ができていなくてもいい。みんなで考えた時にわかればOK！しっかり時間で区切ろう。

- ① 既習事項や既習事項との違いを基に問題解決に取り組む。
- ② 考えた過程を図や文章を使って、筋道を立てて説明する準備。
- ③ 他にも解決の方法はないか考える。

「伸びしろ層」の児童をBに引き上げるための支援を行い、一人一人の理解へつなげる。

## III 集団解決の場～様々な考えにふれることや問い返し等を通して思考や理解を深める場



- ・ノートを見合い、友だちがどんな考えでどのようにまとめたのかを知る。
- ・考えた方法を、筋道を大切に説明する。(ICTの積極的な利用)
- ・友だちの考えを自分の言葉で言えるよう、考えて聞く。
- ・いろいろな考えを比較して、どの考えが速くて便利かを考える。

- ・何のために何を大切に交流するのかを伝えてからスタート！
- ・問い返しや意図的指名により、子どもの思考や理解を深める。大事なおさえや考えは、復唱の問い返して、一人一人の理解へつなげる。

※問い返し後や発表後、すぐに教師がまとめようとせず、子ども達の発言がつながり高まっていくように！

## IV 今日のまとめ～今日の学びを確かめたり整理したりする

何を学んだのかを自覚できるまとめに！(赤で囲む)

- ・効果的な時には、与えたキーワードを使ってまとめを自分の言葉で書かせよう。
- ・今日の学びを確かめたり整理したりする場にしよう。

## V 習熟問題に取り組む(5～10分は絶対に確保) →振り返り

★習熟問題(知識・技能？思考・判断・表現？適切かどうか事前の確認)

- ・確かめ問題に取り組む時間をしっかり確保！
- ・効果的な問題の設定 ・状況を見極め評価する。

考えよう！説明しよう！が目標の時は、説明を書いたりペアで説明し合ったりする活動を習熟として扱う！

★振り返り(大切に書く意識を高める)

1. 何ができるようになったか or 何がわかったか
2. 自分の学習や活動の仕方の状況

※教師は振り返りや確かめ問題の状況を必ず活かす！評価し、その評価を帯タイムや放課後学習などで補充する！



※単元の終わりには、主体的に学習に取り組む態度の2つの観点を意識させて振り返りを行う。